

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月22日

事業所名 放課後等デイサービスあさひ2号館

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		基準以上のスペースを確保しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		法令を遵守しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		段差等ない室内です。現状利用している子で対応が必要な子はいないため、現状維持をしています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		スタッフミーティングにてより良い支援に繋げています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート結果を元に可能な限り業務改善に繋げています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者委員は設けていませんが、計画相談員さんや外部の方より様々なご意見をいただき、業務改善に努めています。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修・外部研修(オンライン含む)に参加させてもらっています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		モニタリングや面談などでニーズや課題を共有し、お子様に合わせた支援計画を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートやサポートブック、発達検査結果等を活用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフ間で外出や活動を考え立案しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		1か月まとめて活動予定表を作成をし、内容が固定化しないように心がけています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		活動、イベントによって見る視点や支援方法をスタッフ間で確認をし、支援をしています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		お子様の特性に合わせて個別活動や集団活動で支援をしています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		社員もパートも一緒に職員間でミーティングをして特記や支援内容の確認をしています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		社員もパートも一緒に職員間でミーティングをして特記や支援内容についての振り返りをしています。出勤していないスタッフとも共有をしています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		活動状況や支援の対応様子をその日のうちにスタッフみんなで作成しています。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度モニタリングを行い、保護者・デイ・計画相談員さんと支援の見直しや支援内容の共有をしています。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		普段できない体験や将来を見据えた支援を行っています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者や児童指導員が担当者会議やモニタリングに参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		新規利用の際は、学校に伺いお迎え方法について協議をしています。学校により対応が異なるため、都度学校と保護者と対応方法の確認をしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		デイでの医療的ケアが必要な方は利用されていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		お子様によっては情報共有を行うこともあります。保護者に引き継ぎ、支援の中で必要な場合は、計画相談員さんを通して一緒に共有をさせてもらうことがあります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在、福祉サービス事業所へ移行される方はいませんが、必要な場合は積極的に情報提供を行い、お子様のよりよい引き継ぎをしていきたいと思えます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		コロナ化で直接的にかかわる機会は減りましたが、必要に応じて研修や連携をさせていただいています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		コロナ禍で中々児童館には行けませんが、公園等での関わりはあります。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		自立支援協議会への参加は積極的に参加出来ていません。開催のお知らせが来た際は参加していきたいと思えます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時、LINE等を用いて状況・様子の確認をしています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者との対面での面談、電話等で相談・会議・面談をさせてもらっています。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っています。利用者負担については、活動内容でもお知らせをしています。ご不明な点は都度対応しております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		直接や電話等で相談・会議・面談をさせてもらっています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	コロナ禍の為、開催できてませんが、以前は茶話会を通して保護者同士の関わり等を行っていました。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情解決窓口を設け、苦情解決マニュアルを作成し、都度対応をしています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月、活動予定表を作成をし配布をしています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		研修を行い、十分注意を払っていますが、今後も意識を高めていけるように努めていきます。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		口頭や視覚化等、特性に合わせて対応できるように配慮しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	コロナ禍の前は、夏祭り等地域の方との関わりを設けていました。落ち着いたら、再開したいと思っております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを作成し、閲覧できるようにしています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回は最低行い、都度必要に応じて回数を増やして日々訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止研修を行い、職員間でも適切な対応をできるように意識を高めて対応をしています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束研修を行い、職員間で適切な対応をできるように意識を高めています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時、見学時にアレルギーの有無を確認し、対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ミーティング時の振り返りで共有をし、書類を作成し、共有しています。	